

いたびっ
板櫃 <校訓>
真理の探究
自主躍進



令和5年4月13日(木)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

- <学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
- ①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
 - ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
 - ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
 - ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

令和5年度第69回入学式が挙行されました！

やわらかな春の温かさを感じながら、北九州市立板櫃中学校第69回入学式が4月11日(火)本校体育館で行われました。

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんは、小学6年生として、それぞれの小学校で、小学校生活の最後の1年間を頑張ったと思います。今からは板櫃中学校の生徒となりますが、みなさんは何も心配する必要はありません。板櫃中学校の先生方は、中学校3年間ではなく、義務教育9年間の最後の3年間として、皆さんを愛情をもって指導します。小学校で頑張ったことを胸に、中学生として自覚をもち、いろいろなことにチャレンジしてください。

【令和5年度 北九州市立板櫃中学校 第69回入学式 学校長式辞】

うららかな春の光の中、色とりどりの花が咲き誇る季節を迎えました。本日ここに、ご多用の中、本校父母教師会長 内田具亨様をはじめ、ご来賓の皆様や保護者の皆様にご臨席いただき、令和5年度 第69回北九州市立板櫃中学校入学式が挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

146名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本日それぞれに新しい希望に胸ふくらませて板櫃中学校の校門をくぐったことと思います。今、緊張している姿と引き締まった表情を見て、今日から始まる中学校生活に向けての意気込みが伝わってきます。これから、どんな成長を見せてくれるのか、皆さんの活躍が楽しみです。

さて、新入生の皆さんに、覚えてほしいことがあります。それは、板櫃中学校の学校生活スローガンである『規律・感謝・情熱』という言葉です。「規律」とは、挨拶や掃除、時間、宿題、学校の決まりを守ることなど当たり前のことが当たり前にできるということです。「感謝」とは、思いやりです。いじめをしない、許さない強い意志をもち、そばで困っている人がいたら、勇気をもって手を差し伸べることです。一人一人の友達、家族、地域の方々を大切にしてください。「情熱」とは、一時間一時間の授業を大切に一生懸命受けるということです。板櫃中学校の生徒としての自覚と誇りをもち、学校行事や部活動、生徒会活動などに全力で取り組んでください。

今日も2年生、3年生がみなさんの入学を祝い、入学式の受付や誘導、演奏をしました。本校の生徒は、どこに出しても誇れるすばらしい生徒達ばかりです。板櫃中学校は、相手を思いやる挨拶、はっきりと自己主張できる返事、そして生徒全員が団結できる、抜群の集団の力が備わっています。

では、どうしてこのような力を身に付けていくことが、大事なのでしょうか。それは、中学校は小学校と違い、3年後には自分の道を進んでいかなければならないからです。3年後の自分の進む道は、10年後、20年後の自分の人生とも大きく関係しています。中学校では、将来を見据えながら、学習内容や礼儀を身に付けるために自分を鍛える必要があります。夢や目標を実現するためには、今日から、「自分ができること」、「自分にしかできないこと」を考え、そのために小さな目標を

立てて、実行してください。板櫃中学校の先生方は、皆さん一人一人に寄り添い、また、厳しく、優しく、愛情をもって支えていきます。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日、中学校の制服に身を包み、緊張した表情で入学する姿を見て、感慨もひとしおのことと存じます。本日より、3年間大切なお子様をお預かりいたします。お子様一人一人が社会に貢献できる立派な人間へと成長していくために、学校と家庭がしっかり連携し、地域の方々のご支援をいただきながら、教育を推進してまいりますので、ご協力、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に、これから始まる板櫃中学校3年間の学びを通して、新入生の皆さんが「思いやりのある温かい心」で人に接し、「自分を律する厳しい心」で自分を反省し、いろいろなことにチャレンジすることができる、凛とした人間に成長することを願い、式辞といたします。

令和5年4月11日 北九州市立板櫃中学校 校長 栗原博巳

保護者の皆様におかれましては、これから始まろうとしている義務教育の後半、仕上げの3年間の中学校生活がお子様にとってどのようなものなるのか、いろいろと想像し、期待と不安が入り混じっていることと思います。本校の現状や様子につきましては、実際にご覧になられたり、お知り合いの方からお聞きになられたりされて、それぞれ印象や感想をおもちのことと思います。しかし、たとえ、上のお子様にも板中生や昨今の卒業生がいたとしても、これからの3年間はまた大きく違ったものになります。特に、ここ2年間、新型コロナウイルスの影響により、多くの行事が中止や延期、縮小となりました。しかしながら、本校の教職員は学習指導をはじめ、様々な働きかけを行いました。生徒も、学級・学年活動や行事に目標をもって取り組み、非常に高い教育効果を発揮いたしました。ぜひ、本校の教育活動についての理解を深めていただければ幸いです。

入学式、卒業式、文化祭、体育祭といった中学校の学内活動。これらを含む学校行事は、よりよい人間関係を築く力、公共の精神や社会性の育成が主な目標であると、学校指導要領に示されています。

中学校における学校行事は①儀礼的行事、②文化的行事、③健康安全・体育的行事、④旅行・集団宿泊的行事、⑤勤労生産・奉仕的行事の5つがあります。

➡学校行事は、生活の充実と発展が目的

学校行事は全校や学年といった集団単位で行なう実践的な活動です。入学式や卒業式といった儀礼的行事や、文化祭、体育祭に見られる文化的行事などは、いずれも学校が計画して実施し、生徒が参加協力することで行なわれる教育活動と位置付けられています。

生徒は学校行事という体験活動を通し、所属する集団への所属感や連帯感を深め、また異学年や地域との交流協力によって自主的、実践的な態度を養います。

➡儀礼的行事、文化的行事、体育的行事とは

中学校学習指導要領において、学校行事の内容は以下のように示されています。

「全校または学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行なうこと。」式典などの学内活動においては、以下のように設定されています。

儀式的行事

「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行なうこと」

入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式など、全校生徒及び教職員が一堂に介して行なわれる教育活動を主に指します。実施の際は厳粛な雰囲気を保つようにし、生徒は互いに祝い、励まし合い、喜びを分かち合うことで連帯感を育み、愛校心を高めます。